

全体会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約 180 団体・機関)

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成 20 年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成 20 年度～)
- ・市の計画について
 - 「第 2 期廿日市市障がい福祉計画について」(平成 21 年度)
 - 「第 3 次障がい者福祉計画・第 4 期障がい福祉計画について」(平成 26 年度～)
- ・研修
 - 「当事者・家族が『生き生き』暮らせる地域創りと生活支援(志縁)～地域自立支援協議会のミッション～」(平成 23 年度)
 - 「知っておこう廿日市市の防災～廿日市市の現状と今できること～」(平成 23・24 年度)
 - 「バリアフリーについて」(平成 24 年度)
 - 「やさしいまちづくり 可部での活動を通して」(平成 25 年度)
 - 「広島市 8 月 20 日豪雨災害を経験して」(平成 26 年度)
 - 「あび隊～知的障がいのある人の疑似体験～」(平成 27 年度)
 - 「避難行動要支援者避難支援制度について」(平成 27 年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成 25 年度)
- ・ステージ発表(平成 24 年度～)
- ・事業所・団体紹介(平成 27 年度～)
- ・事業所製品の販売・展示(平成 27 年度～)

【平成 28 年度 取組計画】

- ・平成 27 年度相談支援実績報告
- ・はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 次廿日市市障がい福祉計画推進
- ・ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示
- ・研修会

【平成 28 年度 取組報告】

年 2 回(7 月 8 日、2 月 17 日)開催しました。

7 月の全体会では、講師に又村あおいさん(内閣府アドバイザー・全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・機関誌「手をつなぐ」編集委員)をお迎えし、障害者差別解消法と地域生活支援拠点に関する研修を行いました。どちらの内容もわかりやすく具体的にお話くださり、今後の廿日市市での取組のヒントをいただくことができました。事業所製品の販売・展示は、前回に続き、好評でした。

2 月の全体会では、講師に自立支援センターつばさの能島さんをお招きし、「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探そう～」と題した研修を行いました。出席された方からは「人と人のつながりについて考えさせられました」「制度やサービスだけでは補完できない人の支援ができていて素敵だなと思いました」などの感想をいただきました。

「音楽ボランティアさといもの会」さん(7 月)、「音楽ユニット げんきなこ」さん(2 月)のステージ発表では会場が温かい雰囲気になりました。

はつかいち福祉ねっと専門部会(障がい別会議・課題別会議)で年間を通して行われているさまざまな取組や第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画の進捗状況などについてもみんなで共有することができました。



研修



ステージ発表

部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会(長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング)

【平成 28 年度 取組計画】

- ①年間 5 回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【平成 28 年度 取組報告】

当初年 5 回の会議を開催していましたが、計画推進会議との関係で年 4 回(5 月 19 日、6 月 19 日、11 月 17 日、2 月 9 日)の会議開催となりました。毎回、各部会の取組等について情報共有しながら、部会同士の共同の取組や全体会の企画全般について協議しました。

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画」を PDCA サイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行う。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧地域生活支援部会(長期入院解消プロジェクト、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑨相談支援部会⑩学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング)

【平成 28 年度 取組計画】

- ①年間 2 回の会議開催
- ②「第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画」を PDCA サイクルで推進するための協議(地域課題の抽出・はつかいち福祉ねっとでの取組整理)

【平成 28 年度 取組報告】

年 2 回の会議を開催し、各部会での取組を共有し、「第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画」の進捗状況について市から報告を受け意見交換を行いました。



身体障がい部会

【目的など】

当事者・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨広島頸髄損傷 Life Net

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺点検
宮島口駅周辺点検
宮島点検※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力
広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備に向け、廿日市市担当課と意見交換(平成23度～)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組(平成26年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度)

【平成28年度 取組計画】

- ①まち点検：JR廿日市駅
- ②おりづる出前教室：7月21日(木)レクスポ(広島ひかり園)
- ③防災(啓発活動・避難訓練)
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進

【平成28年度 取組報告】

今年度は、平成27年度の取組を継続して行ないました。

まち点検では、新しくなった「JR廿日市駅」に行きました。音声案内、点字ブロック、多機能トイレ等、廿日市市の担当課の方と部会メンバーで意見交換を重ねた成果が各所にみられ、大変うれしく思いました。また、「大野東市民センターの新設」に向けての意見交換も行ないました。

おりづる出前教室は、広島ひかり園で開催し、入所者のみなさんがスポーツ吹き矢やディスゲッター、スカットボールといったレクリエーションスポーツに奮闘しました。

防災関連では、あいプラザの消防訓練に他の障がい別会議のみなさんといっしょに参加し、スロープを使っての避難や水消火器を使用しての消火活動、煙幕等を体験しました。

ゆめタウン廿日市での“障害者週間”イベントは、企画段階から参加し、イベント当日には、手話教室や啓発チラシの配布、作品展示等を行ないました。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進については、現状の課題や進捗状況、自分たちにできる取組み等について確認をしました。



まち点検

“障害者週間”啓発イベント

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【構成団体】

①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)
④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦お
おの手をつなぐ育成会⑧ファミリアレ⑨広島県立廿日市特別支援学校 PTA⑩虹
の会⑪くさのみ作業所⑫ピクトハウス⑬友和の里⑭ワークハウスアダージョ⑮障
害者支援施設原⑯大野ふれあい生活介護事業所

【これまでの主な取組】

- ・アンケート(生活の場、ショートステイ等に関するニーズの把握)実施(平成 20 年度)
- ・リーフレット「なってください!サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成 20 年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成 22 年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるピクス」「レクスポ」など(平成 23 年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成 24 年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成 25 年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成 27 年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成 27 年)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成 27 年度)

【平成 28 年度 取組計画】

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ①おりづる出前教室「ゆるゆるピクス」
(10月8日(土)あいプラザ合同開催) | ⑤障がい福祉サービスの学習(65歳問
題等) |
| ②事業所見学 | ⑥就労に関する学習 |
| ③防災に関する学習、防災訓練 | ⑦事業所、家族に分かれての情報交換 |
| ④地域生活支援拠点に関する情報収集、
学習 | ⑧第3次廿日市市障がい者計画・第4期
廿日市市障がい福祉計画推進 |

【平成 28 年度 取組報告】

今年度は、「おりづる出前教室」「事業所見学(いしうちの森、障害者支援施設原)」「あいプラザ消防訓練」「地域生活支援拠点に関する情報収集・学習」「就労に関する学習」「事業所、家族に分かれての情報交換」「第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進」に取組ました。

9月23日(金)のあいプラザ消防訓練(防災プロジェクト企画)には、初めて、事業所の利用者みなさんにも参加していただきました。部会からは35名が参加され「スロープでの避難、煙幕・消火器体験が勉強になりました。」等の感想をいただきました。10月8日(土)にあいプラザ多目的ホールで開催したおりづる出前教室(ゆるゆるピクス)には、47名の参加がありました。ゲームやストレッチ、音楽に合わせた体操など身体を動かすことを楽しみました。消防訓練とおりづる出前教室は事業所の利用者さん同士の交流の場にもなりました。

各情報や課題の共有、学習等を行い、今年度も活発に意見を出し合いながら、取組をすすめました。



毎月1回の定例会



おりづる出前教室(ゆるゆるピクス)

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催:廿日市市、共催:はつかいち福祉ねっと)
 - 「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
 - 「こころの病を持つ人への対応を知ろう」(平成26年度)
 - 「高次脳機能障害のリハビリテーション」(平成27年度)
 - 「こころの病気」(平成27年度)
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 土師ダム(平成24年度)
 - みやじま丸 de クルージング(平成25年度)
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組(平成26年度)

【構成団体】

①精神障害者家族会さくら会②精神障害者家族会こぶし会③大野精神障害者家族会あいあい④脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑤さくら作業所⑥あいあい作業所⑦友和病院⑧訪問看護ステーションゆうわ⑨訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑩エスペランサ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭さくら相談支援事業所⑮相談支援事業所エスペランサ⑯広島県西部保健所⑰市社会福祉協議会

【平成28年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに理解と啓発
- ③日中に集える場について(ソーシャルクラブなどのフォーマル及びインフォーマルな社会資源)の情報提供や活用方法の検討
- ④おりづる出前教室
- ⑤交流企画
- ⑥第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画推進

【平成28年度 取組報告】

今年度は、おりづる出前教室を大野地域で開催し、レクリエーションスポーツ(スポーツ吹き矢やビーンボーリングなど)の体験を行いました。講演会は、障害福祉課と内容などを一緒に検討し、「発達障がい」、「高次脳機能障がい」、「ピアサポート」の3回を企画しました。

交流企画では、約80名でバスを貸し切って尾道観光に行ってきました。企画の段階から当事者の方にも参加してもらい、色々な意見を取り入れました。また、今回はボランティアさんにも声掛けをし、一緒に行くことができました。

地域生活支援拠点については、部会の中で当事者の方に説明を行い、「どのような時に困っているか」など色々なテーマについてグループワーク形式で聞き取りをしました。

第3次廿日市市障がい者計画、第4期廿日市市障がい福祉計画推進については、部会の中で改めて計画を読み直し、現状の課題や部会として取り組めることについて意見交換を行いました。



交流企画
尾道観光



講演会
「高次脳機能障害の
リハビリテーション」



おりづる出前教室

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校 PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤さいき障がい児と親の会「みかん」⑥よしわ障がい児と親の会「つぼみ」⑦広島自閉症協会⑧スイミー⑨ちようちょ⑩きょうだい支援の会 SIBLINGS

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なっください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成 20 年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成 21、22 年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成 22 年度)
- ・「発達障がい児のための進路ステップ学習会」(平成 23・24 年度)
- ・“地域とのつながりづくり” アンケート(平成 23 年度～)
- ・「みんなで学ぼう!!成年後見制度のイロハ」(平成 23 年度)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成 24 年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取組方」(権利擁護部会と共催)(平成 25 年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成 23 年度～)
- ・夏休み工作教室(平成 25 年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成 27 年度)

【平成 28 年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室(レクリエーションスポーツ)
- ②夏休み工作教室(友和の里と共催)
- ③スポーツ吹矢づくり&体験
- ④地域とのつながりづくりアンケート
- ⑤こどもが使える障がい福祉サービス等のべりり帖作成、配布
- ⑥ブログ、LINE を活用した情報発信(団体に所属されていない保護者とのつながりづくり)
- ⑦茶話会+研修(映画上映)
- ⑧第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画推進

【平成 28 年度 取組報告】

昨年度に引き続き、おりづる出前教室と夏休み工作教室(友和の里と共催)、地域とのつながりづくりアンケートを行いました。夏休み工作教室では、「すのこで棚づくり」と「クラフトバンドでかごづくり」をしました。難しい工程もありましたが、楽しみながら最後まであきらめずに作品を完成させることができました。

今年度初めて開催したスポーツ吹矢づくり&体験教室では、My 吹矢をつくった後、個人戦、チーム戦を行いました。初めての経験の子どもたちがほとんどでしたが、みんな少しずつ上達し、とても好評に終わりました。

そして、昨年度から部会で検討を重ねてきた「“障害福祉サービス”等のべりり帖～こどもバージョン～」が完成し、配布をスタートさせました。

映画「ちづる」上映&茶話会では、きょうだいの立場で制作された映画から、きょうだい抱きやすい葛藤や不安等を垣間見ることができ、きょうだい支援の大切さをあらためて感じました。

廿日市市手をつなぐ育成会主催の研修「障害のある子どもと生きるために…」には共催という形で企画段階から参加させていただきました。

例年の取組に加え、初めての取組も行い、盛りだくさんの 1 年になりました。



夏休み工作教室



“障害福祉サービス”等のべりり帖
～こどもバージョン～

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取組めます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成 20 年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成 24 年度～)
- ・事業所紹介 DVD 作成(平成 20 年度)
(協力: 廿日市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成 20 年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成 21 年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成 22 年度～)

【平成 28 年度 取組計画】

- ①ホームページ等を活用した情報発信と新たな情報配信方法(facebook、アメブロ、line 等)検討
- ②事業所リスト・サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ネット活用講座
- ④はつかいち福祉ねっと通信発行

【平成 28 年度 取組報告】

今年度は、事業所一覧の更新、福祉サービスガイドブック改定、ホームページ等を活用した情報発信方法の検討を行いました。

事業所一覧は、例年通り、7月・2月の全体会に合わせて内容の更新を行いました。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

ホームページについては、大幅にリニューアルを行い、それぞれの部会の活動、研修情報などをタイムリーにアップしました。

ネット活用講座については実施することができなかつたので、次年度以降に検討したいと思います。



就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品のPR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施
 - ②info.表参道での常設販売
 - ③市役所ロビー常設販売開始

【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップあんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨ワークハウスアダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭工房ハクナマタタ⑮PIECE 宮内キャリアサポート⑯多機能事業所ばすてる⑰Hana と花舎⑱リバティーはつかいち

【平成28年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有(継続)
- ②“障害者週間”に向けての取組(継続)
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認(継続)

【平成28年度 取組報告】

隔月の会議で各事業所の取組などの情報共有を行いながら取組をすすめました。

今年度も“障害者週間”イベントに向けてワーキングでも話し合いを行い、当日は事業所製品の販売と各事業所の紹介をパネル展示しました。商品カタログ更新について、デザインや記載方法等の話し合いを行いました。試作中のカタログを使って実際に商品の説明を行い、注文をいただきました。

これまで取り組んできたプロジェクト(商工はつかいちの封入作業、市役所からのアンケートのデータ入力、市役所ロビーショーケース展示、市役所ロビーでの常設販売など)を継続して行いました。また、全体会で物品の販売などを行いました。



市役所ロビー
ショーケース



会議の様子



info 表参道

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握(平成21年度)
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中1回)スタート(平成23年度～)
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成25年度)

【構成団体】

①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中:くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、ハートフルあまの、工房ハクナマタタ、友和の里、ワークハウスアダージョ、ぱすてる、ぱすてる大野原、PIECE宮内キャリアサポート、障害者支援施設原、大野ふれあい生活介護事業所、Hanaと花舎、さくら作業所、コーヒーショップあんず、ハナミズキ、にじのえき、広島ひかり園やすらぎ・まごころ、リバティーはつかいち)

【平成28年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年4回)

※夏休み期間中ワーキング(2部構成)

前半:廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半:廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【平成28年度 取組報告】

今年度も、年4回のワーキングを開催しました。夏休みのワーキングでは、前半に廿日市市在住の生徒が在籍している市外特別支援学校にも参加していただき、各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有を行い、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関で進路調整を行いました。



夏休みワーキング



廿日市特別支援学校見学

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【構成団体】

①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市子育て支援課④市健康推進課⑤市障害福祉課⑥きらりあ

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
 - 関係者会議、モニター実施(平成21年度)
 - 「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
 - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
 - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・研修「将来を見据えた放課後・長期休暇の支援について」(平成27年度)

【平成28年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイルの普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所情報交換会開催

【平成28年度 取組報告】

今年度は、初の試みである「障がい児支援関係事業所連絡会」を12月13日(火)に開催しました。行政報告では制度の変更点や事業内容に関する留意点等を共有しました。研修では特別支援教育士の橘恵さんを講師にお招きし、「将来を見据えた放課後・長期休暇の支援について」というテーマで放課後等デイサービスの基本的役割や一人ひとりの発達状況等に合わせた支援の大切さ等について実状を踏まえ、分かりやすくお話いただきました。障がい児支援関係事業所連絡会の今後の定期開催についての確認もしました。

また、乳幼児健診を中心にポジティブライフガイドの配布を継続しています。

「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。



部会の様子



障がい児支援関係事業所連絡会

地域生活支援部会 長期入院解消プロジェクト

【目的など】

精神科病院に長期入院されている人が、地域生活を送ることができるような仕組みづくりについて検討を行ったり、すでに地域で生活を送っている人たちが、より良い生活が送れるよう、社会資源の開拓などをしていくことを目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・ 研修
「“地域で暮らしたい”をサポートするために」(平成22年度)
「病院の退院についての取組を学ぶ」(平成25年度)
- ・ 市が実施した長期入院されている人へのアンケートに協力(平成26年度)
- ・ 院内茶話会の実施(平成27年度)



院内茶話会
グループワークの様子

【構成団体】

- ①友和病院②エスペランサ③相談支援事業所エスペランサ
- ④さくら相談支援事業所⑤さくら作業所⑥広島県西部保健所
- ⑦市障害福祉課

【平成28年度 取組計画】

- ①長期入院をされている人への情報提供の方法の検討
- ②病院内での茶話会の実施
- ③地域での交流の場の検討

【平成28年度 取組報告】

長期入院の解消や地域移行に関する会議と茶話会(2回)を開催しました。

5月の茶話会は友和病院で開催し、約30人の入院されている人が参加されました。退院した後の生活についてイメージを持ってもらうために、現在グループホームで生活されている人から「地域での生活について～グループホームでの1日の生活～」をお話していただいた後、グループワークを行いました。グループワークではピアサポーターの方にも入ってもらい、“退院する事での不安”や“グループホームでどんな生活をしているの?”など色々な事について意見交換を行い、「自分も退院して、グループホームで生活してみたいな」という感想がだされた一方、「食事やお金の管理が大変そう」「自分にはまだまだ難しそう」などの声もありました。

9月の茶話会は串戸心療クリニックのフリースペースを利用させてもらい開催しました。グループホームから民間の借家に生活の拠点を移され、就労継続支援B型を利用しながら地域生活をされている人のお話を伺った後には、参加されていた当事者のみなさんと今の生活についてディスカッションを行いました。

地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的にしています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成25年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成25年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成26年度～)
- ・カローリング交流会(平成26年度～)
- ・みやじま丸 de クルージング(平成27年度～※平成25～26年度は事務局)

放課後長期休暇ワーキング(平成20～24年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成20、21年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成22～24年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成23年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成20～24年度)

【構成団体】

- ① さくら相談支援事業所
- ② あうるホーム
- ③ はつかいち福祉ねっと有志
- ④ 市社会福祉協議会

【平成28年度 取組計画】

- ① みやじま丸 de クルージング
- ② 障がい者スポーツ体験会
- ③ カローリング交流会

【平成28年度 取組報告】

今年で4回目となる「みやじま丸 de クルージング(6月3日(金))」:協力JR西日本宮島フェリー」は、初の1日コースにチャレンジ。呉に向けた航海&上陸ということで、「大和ミュージアム観覧コース」「自由行動コース」という2コースを企画しました。総勢180人のクルージングは、大成功でした。

「第3回カローリング交流会(1月21日(土))」は、今年度もサンチェリーメインアリーナを会場に開催しました。当日は、16チーム約60人の選手のみなさん(前日の積雪の影響で、残念ながら4チームが欠場)が熱のこもったゲームを展開し、どのレーンでも最後には勝ち負けに関係なく、お互いをたたえ合う清々しい光景が広がっていました。当日の運営にご協力いただいたスポーツ推進委員のみなさん、ボランティアのみなさん、そして、協賛いただいた(株)やまだ屋さん、サントリー(株)さんには心よりの感謝を申し上げます。

そして、当初予定していた「障がい者スポーツ体験会」は、「障がい者スポーツ備品の認知度も上がってきた」ということで、文化活動の場づくりと警察との連携という一石二鳥の企画「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊」に衣替え。本番当日の2月25日(土)(会場:さくらびあ大ホール)は、約300の方に来場いただき大盛況でした。交通安全教室、広島県警察音楽隊演奏ともに「とても良かった」という声をたくさんいただきました。



カローリング交流会



みやじま丸 de クルージング
手作り感謝状贈呈

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成 22 年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成 23 年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成 26 年)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないことー」(平成 27 年)
- ・なちゅは介護セミナー(平成 24、25 年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成 27 年度)
- ・救命講習(平成 24、25、27 年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成 24 年度～平成 27 年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成 25 年度～平成 27 年度)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組(平成 26 年度)

【構成団体】

- ①ヘルパーステーションふれあい
- ②訪問介護事業所第 2 清鈴園
- ③あうる介護サービスセンター
- ④ニチイケアセンター廿日市
- ⑤サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市
- ⑥ヘルパーステーションケーアイ
- ⑦コアラ訪問介護事業所
- ⑧土谷ヘルパーステーション阿品
- ⑨オムエルヘルパーステーション
- ⑩もみじケア訪問介護事業所
- ⑪(株)アッシュ
- ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市
- ⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター
- ⑭ヘルパーステーションあすか
- ⑮エコール在宅介護ステーション廿日市
- ⑯アイネットホームサービス

【平成 28 年度 取組計画】

- ①救命講習受講
- ②ヘルパーのスキルアップのための研修
介護技術研修、講演会、制度学習会

【平成 28 年度 取組報告】

今年度も救命救急講習を開催し、廿日市消防署の方から心肺蘇生や AED 使用方法、異物除去法など業務中のいざという時にあわてず活用できるような救命方法を中心に指導を受けました。

講演会は、「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(講師：竹内吉和先生 竹内発達支援 Co.) を精神障がい部会、市と合同開催し、多くの方に聴講いただきました。

介護技術研修は、広島県地域医療介護総合確保事業を活用し、「介護技術向上研修」(講師：NPO 法人リハケアリングネットワーク) を開催しました。介護実技や福祉用具の利用方法など体験しながら理解を深めることができました。

「移動支援事業や日常生活用具など制度について知りたい！」という声から、定例会を活用し、制度に関する学習も行ないました。



救命講習



研修会

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

当事者や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っていきます。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・ 防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・ 研修
「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・ 障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)

【構成団体】

- ①身体障がい部会
- ②知的障がい部会
- ③精神障がい部会
- ④こども部会
- ⑤市社会福祉協議会
- ⑥市障害福祉課

【平成28年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)
- ②防災などについての学習会

【平成28年度 取組報告】

9月23日(金)のあいプラザ消防訓練に障がい別会議のみなさんと参加しました。今回は、昨年度みなさんから出していただいた意見を反映させ、知的障がいのある人や精神障がいのある人にも参加してもらいました。参加された人は、避難誘導班の指示に従って、避難用スロープで隣接する新宮公園に避難しました。日ごろからよく利用するあいプラザでこのような体験がみなさんと一緒にできた事はとても良かったと思います。

避難終了後には、消防署の方から説明を受けながら、天ぷら油火災実験や初期消火訓練、煙体験ハウスなどの幅広い体験をすることができま



事前の会議の様子



天ぷら油火災実験



煙体験ハウス

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【これまでの主な取組】

※平成 28 年度新設

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②視覚障害者の会「椿会」③佐伯地区ろうあ協会廿日市支部④特定非営利活動法人広島頸髄損傷 Life Net⑤障害者施設・原家族会⑥脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑦スイミー⑧みんなのつながりを豊かにしたい会⑨広島ひかり園⑩友和の里⑪くさのみ作業所⑫さくら作業所⑬友和病院⑭エスペランサ⑮特定相談支援事業所広島ひかり園⑯相談支援事業所いっぽ⑰相談支援事業所エスペランサ⑱相談支援事業所あおぞら⑲アイネットホームサービス

【平成 28 年度 取組計画】

- ①講演会開催(7月8日全体会 講師:又村あおいさん)
- ②ニーズ調査
- ③他市町の取組調査
- ④地域生活支援拠点(システム)の検討

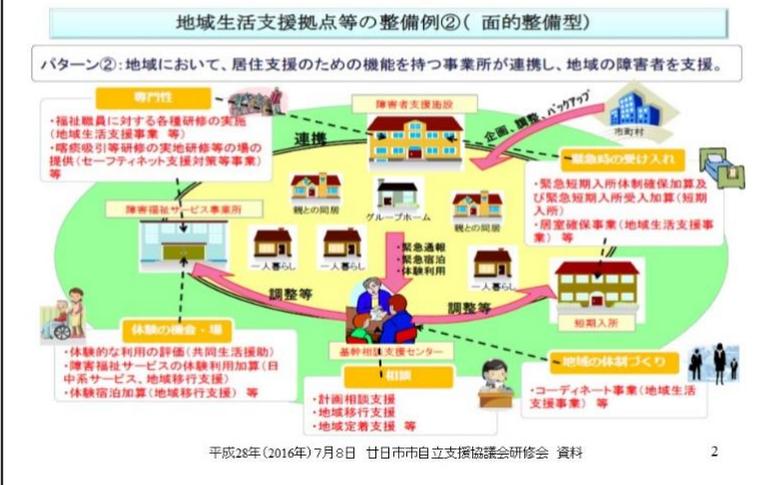
【平成 28 年度 取組報告】

プロジェクト始動前の全体会(7月8日(金))では、又村あおいさん(全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員、機関誌「手をつなぐ」編集委員、(社)日本発達障害連盟 JL ニュース編集長)を講師にお迎えした研修会(演題「地域生活支援拠点とは?~その背景と整備に向けたポイント~」)を開催し、そのイメージの共有化をおこないました。

そして、プロジェクトは9月26日(木)からスタートさせ、以降月1回ペースで協議検討を行いました。毎回のプロジェクトでは、「地域生活支援システム」の青写真づくりのために、各種情報共有(「厚生労働省平成27年度地域生活支援拠点等整備推進モデル事業」「安心して廿日市市で暮らし続けるために必要なこと(各障がい別会議)」「障がいのある本人の声(精神障がい部会)」「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」等)を行いました。

3月9日(木)には、県との共催という形で、市町職員のみなさん等を対象にした講演会を開催し、約100人の方にご参加いただきました。講師には、国のモデル事業に取り組みされた、社会福祉法人シンフォニー村上和子さん(大分市)、社会福祉法人南風荘 勝山憲和さん(宇部市)をお招きすることができました。

国が示すイメージは・・・



プロジェクトの様子

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画（障がい児支援利用計画）」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・ サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等（平成 24 年度～）
- ・ 事業所間情報交換（平成 24 年度～）
- ・ 調査活動（タイムスタディ）（平成 25 年度）
- ・ オリジナル資料作成（虎の巻、計画相談に関する疑問と整理（Q & A）、相談支援専門員一覧）（平成 24 年度～）
- ・ 事業所紹介（平成 24 年度～）
- ・ Dropbox 活用による情報共有（平成 24 年度～）
- ・ 事業所見学ツアー、事業所情報シート作成（平成 26 年度～）
- ・ 第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組（平成 26 年度～）
- ・ サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討ための実態調査実施（平成 27 年度）
- ・ サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会（平成 27 年度）

【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所 PIECE 宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧コアラ相談支援事業所⑨相談支援事業所いっぽ⑩相談支援事業所あおぞら⑪特定相談支援事業所友和の里⑫相談支援事業所エスペランサ⑬一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑭あうる介護サービスセンター⑮廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑯さくら作業所⑰アマノリハビリテーション病院⑱生協ひろしま介護サービス・廿日市⑲PIECE 宮内キャリアサポート⑳多機能事業所ぱすてる㉑スプリングコート㉒ウィルサポキッズ廿日市 SSTs㉓放課後等デイサービス KANAL 廿日市

【平成 28 年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
→「学習コーナー（定例部会内）」での学習（制度、計画作成など）
→「グループワーク（定例部会内）」による、事業所間の情報共有
→事業所見学ツアー&事業所情報リスト作成
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
→部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropbox による情報共有で新規参入事業所等へのフォロー
- ③サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員合同研修会開催

【平成 28 年度 取組報告】

毎月定例会を開催し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携をはかっています。「避難行動要支援者避難支援制度について」「地域生活支援拠点整備について」等の制度学習や、多職種他機関の業務内容や役割理解のため担当職員の方に来ていただいたの学習を行ない、相談支援専門員に求められる役割等についてみんなで意見交換を行なっています。

その他、昨年に続きサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者と相談支援専門員合同研修会を開催しました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【構成団体】

①さくら作業所②エスペランサ③広島西医療センター④サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑤ヘルパーステーションケーアイ⑥くさのみ作業所⑦市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

権利擁護

- ・研修「みんなで学ぼう!! 権利擁護の基礎について」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 21 年度)
- ・研修「権利擁護について～当事者の方から～」(講師: 大元誠司さん、平山圭紀さん)(平成 26 年度)

成年後見制度

- ・研修「みんなで学ぼう!! 成年後見制度のイロハ」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 23 年度・子ども部会共催)
- ・研修「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 24 年度・精神障がい部会共催)
- ・研修「成年後見制度講演会」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 25 年度)
- ・研修「成年後見制度・福祉サービス利用援助事業かけはしについて」(講師: 谷川ひとみさん)(平成 26 年度)

虐待防止

- ・研修「障害者虐待防止ーおこさないために&起こってしまったらー私たちにできること」(講師: 田中清美さん)(平成 24 年度)
- ・研修「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」(講師: 森木聡人さん)(平成 25 年度)

障害者差別解消法

- ・「障害者差別解消法がめざすもの」(講師: 横藤田誠さん)(平成 27 年度)

その他

- ・部会内部研修「事例検討におけるスーパービジョン」(講師: 木村雅昭さん)(平成 22 年度)
- ・研修「自己評価について」(講師: 井上予志栄さん)(平成 23 年度)
- ・研修「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取組方」(講師: 松原智治さん、山下千絵さん)(平成 25 年度・児童部会共催)
- ・第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取組(平成 26 年度)

【平成 28 年度 取組計画】

研修会

- ①虐待防止研修
- ②障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)研修

【平成 28 年度 取組報告】

今年度は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の理解を目的に、「障害者差別解消法ってなに?～法律の概要と活用のポイント～」(講師: 全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員・「手をつなぐ」編集委員 又村あおいさん)、虐待や権利擁護の理解を目的に、「障害のある人の権利擁護と虐待対応について」(特定非営利活動法人地域の絆 代表理事 中島康晴さん)の 2 つの研修会を開催しました。



研修の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

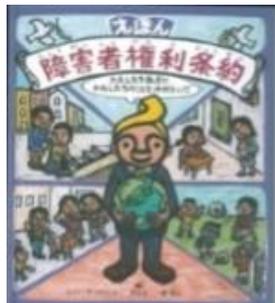
障がい者福祉についての関心と理解を深めるために障害者週間に啓発活動を行います。



手話の体験教室



2階フロアスペース



障害者権利条約の絵本



2階市民ホール



【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会 ④全国障害者問題研究会廿日市サークル⑤廿日市市障害者福祉協会⑥広島ひかり園⑦友和の里⑧コーヒーショップあんず⑨くさのみ作業所⑩市障害福祉課

【平成28年度 取組計画】

①障害者週間での取組、啓発活動。
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【平成28年度 取組報告】

12月3日(土)にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。今回は、廿日市市障害者福祉協会が行う“障害者週間”の啓発活動との合同開催ということで、多くの方と一緒に取組ました。3階の紀伊国屋書店前では事業所の製品販売、手話の体験教室を行い、2階の市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品の展示、障害者権利条約の絵本のスライド上映、バルーンアート、喫茶コーナーを行いました。

(株)藤い屋さんとカルビー(株)さんからいただいた協賛品は、手話の体験をされた方や市民ホールに来られた方にお渡ししました。

障がい別会議、福祉就労ワーキング、ボランティアのみなさんなど、多くの方の協力が無事終えることができました。